

## 10月のできごと

田丸 あけみ

10月21日、天気は雨模様となってしまいましたが、4、5歳児の子ども達は、体調を崩すことなく、元気にアトムフェスティバルを終える事ができました。当日、保育の協力や手伝い等、様々な場面でのご協力本当にありがとうございました。

10月は、保護者の方と話しをする機会がたくさんありました。その中で、職員への思いや、園として再度見直しが必要な事など考える材料を見つけました。

先週の職員会議で、職員の半年を振り返り、今の現状に満足する事なく、自分とも向き合いながら、どんな自分でありたいか、何を大事にしていきたいかなど、語り合いました。忙しい毎日だからこそ、立ち止まって考える事や、保育を振り返る時間はとても大切です。

私自身も職員の葛藤を聞きながら立ち止まって考え、保護者の声を思い出しながら、大事な事を見失ってはいけないと、思い返させてもらいました。

「職員は、私たち保護者に助けてほしい事がある時はいつでも言ってねと伝えてくれるが、職員も、保護者に一緒に考えてほしいことなど、伝えてくれているのかな?」「もっと、保護者の力を借りたらいい。職員だけ、保護者だけ、では子ども達を守れない。育めない。」と伝えてくれました。職員とはまた違った視点で物事を考えてくれ、発想してくれる保護者の力をもっと借りながら、子どもを真ん中に、一緒に考え合っていける大人同士（保護者・職員）でありたいと改めて感じた10月でした。

事務室前にある、展示食ケースがリニューアルした事をご存知でしょうか?

これまでは、プラスチック製の小さな展示食ケースでしたが、木製の立派な展示食ケースに生まれ変わりました。この木製の展示食ケースは、すいか組の宮下りこちゃんのおじいちゃんに手作りしていただきました。

長年、木製の展示食ケースを探していましたが、手作りしてもらえる方を一度募ってみる事にしました。そして、嬉しい事に宮下さんが手を挙げて下さり、作って下さる事になりました。

完成した展示食ケースを見た時は、想像以上の完成度でとても感激しました。

素敵な展示食ケースに子ども達も大喜びで、毎日お迎え時、「今日は、これをおかわりした」「おいしかった」と展示食を見ながら親子で会話している声が事務室まで聞こえてきます。

今の時期は、暗くなるのが早いので、ライトを灯しているのですが、それもまた、とても綺麗に見えます。夜間保育利用の子ども達にも、お迎え時、展示食を見ながら親子で会話をしてほしいと思い、夜間保育終了時間の間際まで展示していますので、ぜひ親子で会話をしながら見て帰って下さいね。

素敵な展示食ケースを作っていただき本当にありがとうございました。

日頃から、ボランティアの方々にアトム共同保育園は、たくさんお世話になっています。今回はその方々を対象に日頃の感謝の気持ちを込めて11月のお誕生日会にお招きし、子ども達と楽しいひとときを過ごしていただきます。